

保健師のおはなし

~お酒を飲み過ぎていませんか? | 月 |6 日は禁酒の日~

新年会などでお酒を飲む機会が多くなる季節ですね。アルコールは適量であれば生活に潤いを与えてくれますが、適量を超えれば、生活習慣病をはじめとして心身にさまざまな影響を与えます。ぜひ、この機会にアルコールとのつきあい方を見直してみましょう。

【アルコールの1日の適正量】

純アルコール摂取量で、男性は1日20g以下、女性・高齢者は1日10g以下です。アルコールは肝臓で1時間に7gほど分解することができます。右表から普段摂取しているアルコールの量と分解時間を計算してみましょう。

●純アルコール約 20g の目安

ビール	中瓶 1 本 500ml
日本酒	1 合弱 180ml
ウイスキー・ブランデー	ダブル 60ml
焼酎(アルコール度数25度)	0.6合 110ml弱
ワイン	グラス 2 杯弱 200ml

【お酒の飲み過ぎが引き起こす病気】

お酒は飲み過ぎると体中にさまざまな影響を及ぼします。アルコールそのものが高カロリーのため、肥満やメタボリックシンドロームなどの生活習慣病の原因にもなり、高血圧、脳出血、脂質異常症、乳がんのリスクは飲酒量と比例して高くなることが分かっています。また、アルコールを分解する肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれるほど肝硬変直前まで症状が出にくいため、適正なアルコール摂取量を心がけましょう。

飲酒が引き起こす病気

- ●がん(口腔、咽頭、食道など) ●脳出血、脳梗塞、脳の萎縮、認知症 ●肝障害 ●すい炎、糖尿病 ●痛風
- ●歯周病、歯の喪失 ●心不全、狭心症 ●高血圧 ●脂質異常症 ●胎児性アルコール症候群(妊婦の場合) など

◆お問い合わせ ふれあいセンター522000



これからこの子たちにどんな未来が待っているかわかりませんが、今日も明日も明後日も笑っていてほしいと親として願っています。

(母・佐々木由佳さん)

市の人口 ★ 12 月末現在★